

新潟焼山の生い立ち

▲ 焼山

坊々抱岩

火砕流の
堆積範囲

溶岩流の
堆積範囲

火打山
川

一ノ倉川

焼山
川

笹倉温泉



早川

焼山温泉



| | | |
|------------------------|---|--|
| 平成 1997 ~1998年 | ▲ | 小規模噴火 (降灰) 1997-1998年噴火 |
| 昭和 1949 ~1983年 | ▲ | 小規模噴火 (降灰・噴石) 1949年噴火 1962-1963年噴火 1974年噴火 (3名の死者) 1983年噴火 |
| 江戸時代 1773 ~1852年 | ▲ | 火砕流の噴出 大谷火砕流Ⅱ (1773年) 硫黄の流出 (1852年) |
| 南北朝時代 1361年 | ▲ | 火砕流の噴出 大谷火砕流Ⅰ (1361年) |
| 平安時代 989年前後 | ▲ | 溶岩流・火砕流の大量噴出 早川火砕流 前山溶岩流 一ノ倉溶岩流 坊々抱溶岩流 |
| 縄文時代 約3000年前 | ▲ | 火山活動開始 焼山火砕流 真川溶岩流 (南側へ流下) 前川土石流 |

新潟焼山の歴史 (早津, 1994) より

新潟焼山は、今から3,000年前に誕生した、とても若い活火山です。

焼山の活動は、上の表で分かるように活発な噴火を現在にいたるまで繰り返しています。

